

やすぎ  
安来地区農業活性化計画（島根県安来市）

【取組概要】

- ・事業期間：H27～R元年度
- ・事業実施主体：安来市
- ・事業費：約3.2億円（うち国費1/2）
- ・事業内容：パイプハウス整備



市の就農  
支援情報



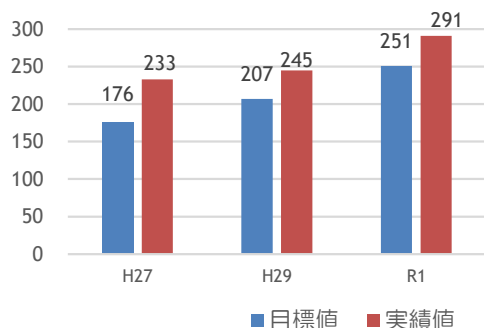
パイプハウス団地

取組のきっかけ

担い手の高齢化が急激に進展し、産地の維持・発展が課題となっていた。新規就農者、集落営農組織、農業参入企業など多様な担い手の確保のため、儲かる経営体の育成、生産意欲の向上を図ることとした。

市・県・JAによる検討会（全13回）を開催し、その中で施設園芸による高収益化に注力し、初期投資の軽減を通じて安定した経営を実現させる方針に至り、リース方式のパイプハウス団地整備を計画。施設整備と並行して新規就農者の受入体制の検討を進め、県の補助事業と連携し、2年間の就農研修と住宅確保をパッケージ化した。

地域産物の販売額（百万円）



新規就農者の受入パッケージが確立し、実施期間中15名新規就農者を確保。

新規就農者同士の交流から発展し、生産者組織が設立され、米子市と安来市の行政区域を越えての情報交換や勉強会、直売所運営等を行っている。

にしうら  
西浦地区活性化計画（福井県若狭町）

【取組概要】

- ・事業期間：H29年度～31年度
- ・事業実施主体：若狭町
- ・事業費：約1億円（うち国費1/2）
- ・事業内容：宿泊機能付き漁村体験施設の整備



施設HP



若狭湾に面した校舎

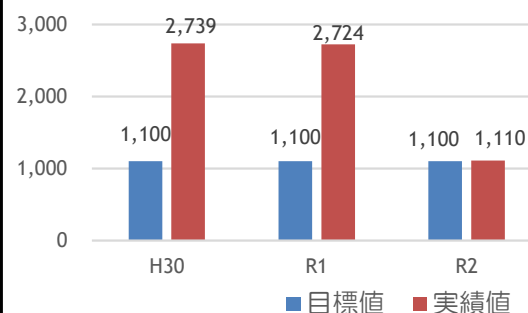
取組のきっかけ

町の基幹産業のひとつである西浦地区の漁業や民宿業において、後継者の育成と漁村の活性化が課題となっていた中、H27年～H28年に地区の中学校分校、小学校が休校となり、校舎を有効活用した課題解決を図ることとした。

住民の学校への愛着や、地域の民宿業への影響を懸念する声もあったことから、住民参加型のワークショップ等を開催し意見をとりまとめた。

また、学校法人、地元まちづくり団体、町の三者で交流促進協定を締結。学校法人が運営を担う一方、日常的な管理や漁村体験の指導には地域住民が協力する体制を構築。

滞在者・宿泊者数（人）



運営する学校法人の大学に地域課題解決を考える「みさ活部」ができ、学生のアイデアによる地域活性化に取り組むなど、大学と相互交流が生まれた。

また、漁村体験や団体の受入にあたって地元漁師、女将さんの協力を得る形で、新たな雇用の場として確立しつつある。